

# 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(3つの能力・12の能力要素)」として定義。

(経済産業省)

## 前に踏み出す力 (アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～  
指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることが求められている。



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

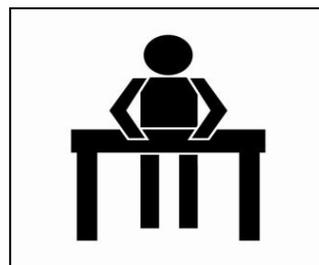
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

## 考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～  
論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求められている。



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

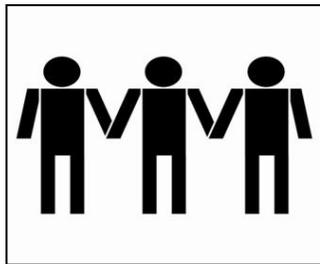
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

## チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～  
グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力が求められている。



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力